



るるるる



2015年
3月
No.807

■発行所
日本福音ルーテル教会事務局広域室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト <http://www.jelc.or.jp>

■E-mail jelc@jelc.or.jp

■発行人 安井宜生 koho06@jelc.or.jp

■印刷 精文堂印刷株式会社

■定価 1部 40円 (郵税を含む)

■振替口座 00190-7-71734

説教「信じ、従うこと」

日本福音ルーテル聖パウロ教会牧師 松木 傑

神は命じられた。「あなたの息子、あなたの愛する独り子イサクを連れて、モリヤの地に行きなさい。わたしが命じる山の一つに登り、彼を焼き尽くす献げ物としてささげなさい。」(創世記22章2節)

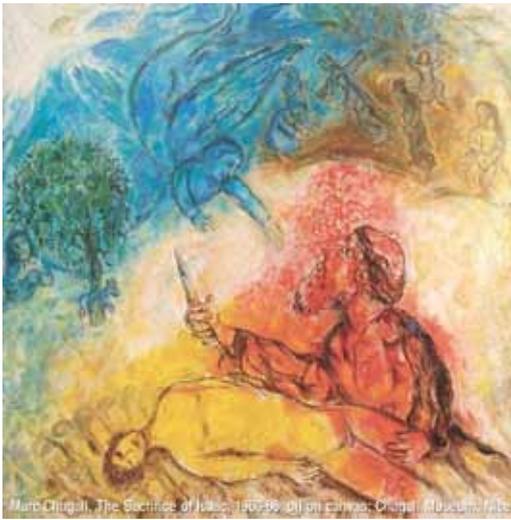
神さまと信徒のみなさまのお支えと寛容さにより、40年のルーテル教会での務めを終え、退職することになりました。ありがとうございました。感謝いたします。

本稿のために掲げました聖書の言葉は、私の信仰生活と今に至る歩みの原点ともいえます。私は18歳で大学生活のために広島県の田舎から京都に移りました。当然ながら、自分は何のために生きるのかと自らに問い

かけました。何を目標にするかと思悩みました。能力もなく、情熱もない！大学を辞めて、船乗りになつて海外にでも行ってみようかと思ひ、船会社まで行つたこともあり。しかし、その勇気もない！ないないづくめで、下宿先でこたつにあたってFM放送を聞いていました。そのとき朗読の時間だつたと思ひますが、旧約聖書のこのアブラハムがイサクを献げる話が聞こえてきました。強烈に

感動させられました。生きるとは「これなんだ」と気づかされました。長年待ち望んで与えられた、最愛の一人息子を犠牲にささげるなど、これほど理にかなわないことはありません。人間の感情と理性からするとありえないことに對して信じ、従う。「何故」の論理を超えることが語られています。唯一の理由は、神が命じられた、ということにあります。

新約聖書には、弟子たちの中で誰が一番偉いだろうか、と議論が起こり、主イエスが「偉くなりたい者は、皆に仕える者になりなさい」(マタイ20・26)とお叱りになる場面があります。結局一番偉くなりたいという人間の欲望を手に入れるために、その手段として奉仕するということなのかと疑問に思つたことがあります。他者に向かつて奉仕しているように思えるが、それは結局、迂回して自分に



ちやうどそのような時に、アフリカのピアフフ現在のナイジェリア)で内戦が起り、200万人の餓死者がでる悲劇が起り、京都市内の3つのルーテル



教会の青年会で募金活動を行いました。同じ時代と同じ地球に住んでいるのだから、私たちは何かなすべきことがあるのではないかと、その時強く思いました。その思いが、私のその後の教会での活動で形になったのが、「非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン」と「一般社団法人わかちあいプロジェクト」の設立です。フェアトレードによって世界の課題に取り組む働きです。

南と北の国の間に広がる貧富の差は、同じ地球に住む私たちの緊急の課題です。インターネットは難民キャンプでも接続でき、情報が一瞬にして世界の隅々に配信される中で、努力しても貧しさから抜けられない南の国の人たちの苛立ちと絶望感、人々をテロリズムに駆り立てる要因の一つとなるとも言われています。

現在の世界の混乱状態は、この不公平さが要因とも考えられます。単に途上国を支援するという発想を越え、私たち自身の存続にもかかわっています。その中でフェアトレードは、誰もが参加できる身近な貧困問題への取り組みです。牧師は引退しますが、フェアトレードの働きは続きます。今後ともお支えください。

それは、これまで取り上げ てきた「奴隷的拘束下にある意志」について詳細に論じた論文であった。幸か不幸か、ルターは攻撃的な論文にならなければならない。ルターはこの論文の中で、「自由意志なきは、真つ赤な嘘、単なるフィクション」

3・11を憶える礼拝



日時: 2015年3月15日(日) 15時30分
会場: 日本福音ルーテル東京教会
説教: 白石義信さん(いわき食品放射能計測所「いのり」所長、常磐教会牧師)
報告: 佐藤文敬さん(元JLER現地スタッフ)
主催: 東教区「プロジェクト3・11」

宗教改革500年に向けて

ルターの意義を

改めて考える(35)

ルター研究所所長 鈴木 浩

と言いつつ。

ルターは1525年の暮れ、『奴隷意志論』という非常に刺激的で挑発的なタイトルの大論文を出版した。前年にルターを批判して出されたエラスムスの『自由意志論』に対する反駁論文であった。

それは、これまで取り上げてきた「奴隷的拘束下にある意志」について詳細に論じた論文であった。幸か不幸か、ルターは攻撃的な論文にならなければならない。ルターはこの論文の中で、「自由意志なきは、真つ赤な嘘、単なるフィクション」

ルターはこの曖昧さから決別し、名目的にも実質的にも自由意志を否定した。それはアウグスティヌスが提起したあの原罪論の強化であった。

2015 グループ・ワークキャンプ(米)

参加者募集中

対象: 14~20歳の健康な方
期間: 2015年7月23日(木)~8月5日(水)
募集人員: 5~10名前後
参加費用: 20万円(値下ししました!)

内容: ニューヨーク州(予定)でのホームステイとワークキャンプ
申込期限: 2015年4月末日(必着)

詳細はJELAのホームページで。
<http://www.jela.or.jp/>

右のQRコードからキャンプのPR動画が視聴できます。(約15分)

主催: 日本福音ルーテル社団(JELA)



「イスラム国」による日本人2名の殺害は、日本だけでなく世界中に衝撃を与えました。痛ましい結末でした。後藤健二さんは日本キリスト教団に属するキリスト者であったこともあり、この方の講演を聞いたり、直接話をしたことがある人がルーテル教会の中にもいらっしゃることを耳にしました。

日本のキリスト者への期待

総会議長 立山忠浩

このような事件が起こる度に耳にするのは「宗教は恐ろしい」という市井の声です。ひとつの宗教に拘らないことをよしとする多くの日本人に、「だから一神教は怖い」とも言うまでもありません。しかしながら、過去の歴史を振り返るならば、キリスト教も他宗教との争いに積極的に加担したことがあったことも忘れてはならないと思います。

日本に暮らす者にとっ ては、仏教や神道という宗教には馴染みがあっても、イスラム教はどこか遠い国や民族の宗教という印象が否めません。私もそのひとりでした。しかし今回の事件にまつわ

る報道から、私の牧する教会がある東京の豊島区にイスラム教の方々の礼拝所があることを知りました。先日は、保育園や幼稚園にもイスラム教の子供たちが通っているということは珍しいことではキリスト者として何をすればよいのか。決して大袈裟なことではないでしょう。偏見を持たず、ごく自然に接し、興味を持つこと。そして他の宗教に敬意を払うことだと思えます。中東を中心とした民族や国家間の戦争や紛争が起こる度に、日本ではそれは宗教戦争と理解され、「だから宗教は怖い」というそりや陰口を耳にすることがありますが、「自分の宗教を大切にすることこそ、他の宗教も大切にできる」ことを肝に銘じなければなりません。日本のキリスト者への期待は大きいと思つたのです。

プロジェクト3・11より

小泉嗣(東教区社会部長)

私たちは日々新たな災害や事件、事故に出会い

ます。それが直接の体験であれ、見聞きし心に刻まれたものであれ、時と場合が離れば離れるほど、記憶は曖昧になり、気持ちの振幅も小さくなつていきます。だから前に進めるという声と、だから人は弱いという声、それぞれに頷いてしまう私があり、それではだめだという私があります。あの日、私たちは皆、何らかの形で東日本大震災

を体験し、心に刻み込まれた。そして何か奉仕でできることができれば、その苦しみも喜びもまた、わかちあえらると思つてからです。3月15日(日)15時半より東京教会にて、いわき食品放射能計測所「いのり」の明石善信所長(日本基督教団常磐教会牧師)を説教者に、また元ルーテル教会救援スタッフの佐藤文敬さんを報告者に迎え、「3・11を憶える礼拝」を守ります。覚えて祈り、ご参加ください。

や体験を、キリストの体である教会全体でわかちあうことができれば、その苦しみに喜びもまた、わかちあえらると思つてからです。3月15日(日)15時半より東京教会にて、いわき食品放射能計測所「いのり」の明石善信所長(日本基督教団常磐教会牧師)を説教者に、また元ルーテル教会救援スタッフの佐藤文敬さんを報告者に迎え、「3・11を憶える礼拝」を守ります。覚えて祈り、ご参加ください。



いわき食品放射能計測所「いのり」

宣教の取り組み 野宿者支援活動 ともにいきる ともにたべる

久保彩奈(本郷教会)

2014年6月から本郷教会では野宿者支援活動を余儀なくされている人々へ食事配る給食活動を始めました。この活動は10年間、主に東京渋谷で活動を展開していた「聖公会野宿者支援活動・渋谷」が6月で終了することに伴い、よりエキシメニカル

な形で引き継ぎ、本郷教会も担うこととなりました。新たに始めたばかりですが既に16回(2月1日現在)の給食活動を行いました。毎月第1日曜日は本郷教会、第3日曜日は日本基督教団早稲田教会を準備会場にして、渋谷で配食しています。

礼拝後に教会の内外を問わず、10数名の有志で200食以上のお弁当を準備し、缶詰などの保存食と一緒にお渡ししています。また未使用の歯ブラシや石鹸などを集め、生活に必要な消耗品など

とお配りしています。この活動の名前は「ちかちゆう給食」といいます。「ちかちゆう」とは、東京都渋谷区の区役所「地下」にある「駐」車場のことで、そこにいた野宿の人々との出会いをきっかけに始められたからです。野宿の人々は襲撃(暴力)や排除(追い出し)、福祉事務所による生活保護の「水際作戦」などにさらされておき、あらゆる形で尊厳をふみにじられ、いのちを脅かされています。持たざる者が更に苦しみを背負わなければならぬ現状に真心をもって

ひたむきに寄り添うことがこの活動の使命です。イエスが社会の中で低く貧しくされた人々と食事をつかち合い、共に生きた姿に倣いつつ、渋谷で待っている人がいる限り活動を続けたいと思っています。この活動は月に2回、しかも1食分しか届けられない小さなものですが、多くの方からの祈りと支えがなければ

ば成り立ちません。みなさんがこの記事を読んでいる今も、路上で過ごさざるをえない人々がいることを覚え、思いを寄せてください。活動に参加を希望されたい方は、shibuyachikachu@gmail.comまで、ご連絡ください。

る方、またお米や歯ブラシ、石鹸などのおすそわけやカンパのお申し出など、お問い合わせはshibuyachikachu@gmail.comまで、ご連絡ください。

住所変更
召天牧師配偶者の大石昌子様が転居されました。
■大石昌子様
住所〒874-0910
大分県別府市石垣西10丁目1-13ケアコートはるかぜ102号
電話(携帯):080-0172016247

お詫言と訂正
2013年2月号以来、機関紙の通し番号に誤りがありました。申し訳ありません。今号より正確な番号へ修正致します。
既発行分の訂正につきましては、JELCホームページにおいて掲載致します。
広報室長 安井直生



白川清牧師を偲ぶ

長尾博吉(定年教師)

1956年の夏、西南学院の山の家で開催されたルーサー・リーグ(ルーテル青年連盟)の修養会に参加した折に、初めて私は白川清師に



1933年3月25日～2015年1月17日
1967年接手

その時の第一印象は大変エネルギーが豊富な青年というものでした。声も大きく、体躯に恵まれた白川師の統率力は目を覚ますものがあり、受洗して間もなかった私には、教会には素晴らしい人材が居られるのだと感心したので、今も忘れられません。

そして、私が神学校3年目(教養科3年)の時に、白川師は献身して東京中野の日本ルーテル神学校に入学してこられました。後輩にこんな方が来られたのでは、うかうかしておられないと脅威に感じたことも今は懐かしい思い出の

ひとつとなりました。白川師は、若い頃、福岡のルーテルアワーゼンターで働かれた経験から、ラジオ伝道にはこのほか熱意があふれる静岡のSBS放送におけるルーテル・アワー「こころの広場」の制作、フォロアアップに3年間没頭されました。

また、静岡市には静岡キリスト教連合会があり、そこには日本基督教団を始め、カトリック教会、日本聖公会、バプテスタ教会、ルーテル教会、ホーリネス教会、2つの単立教会、その他の約20の教会が参加し、毎年市民クリスマス会を開催していましたが、その世話役等にも献身的に奉仕しておられました。

これらの一事をとってもよくわかりますように、白川師は何事にも全力でぶつかり、まじめに反応する努力家でした。この1〜2年、大病に罹患し入院されていた。必要なら製薬事業に協力し、積極的に治験(医薬品の承認を得るための薬物臨床試験)を受け入れられていました。

正に最後まで成すべきことを遣り抜き、生き抜かれ、主の御許に帰られたのでした。

J3 退任挨拶

キャロライン・キナン
Caroline Keenan



この2年という時間は私の人生にとって最も意味深い日々となりました。日本について、教会について、自分自身について、そして神さまがこの世界と私の人生において働いてくださることについて学ぶことになりました。着任した頃はとても緊張し、時にホームシックになりました。しかし、皆さんが暖かく迎えてくださった

した。まさに神さまは私に3つの家族をくださったと感じました。それは九州学院、健康教育、熊本教会の英語礼拝という家族です。皆さんの存在が私の人生にとってどれほど大きな影響を及ぼしたことでしよう。帰国後、私は神学校で学び、牧師になりたいと思っています。そして、わたしがこの地でいただいたような愛情と配慮を他の人たちに示していきたいと思います。この2年という時に心から感謝します。私はみなさんのことを決して忘れません。

モーガン・ディクソン
Morgan Dixon
私は宣教師として日本

にきましたが、皆さんの支えられてきました。そのことにも感謝しています。

2年間とても貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。この経験をこれからの私の人生にいかすことが出来るようにがんばります。本当にお世話になりました。

ローラ・フェントレス
Laura Ferriss



退職にあたり

鐘ヶ江昭洋



この度、定年を迎えるにあたり、感慨が一層、深まりました。この44年間の間、愛するルーテル教会のみならず、深い絆に結ばれて、大変有意義な人生を歩ませていただきました。

ルーテル教会は最高の教会です。マルチン・ルターの流れの本流として、おほかた、それなりに充実した、極めて真実に従った教会です。ことに「万人祭司」という、ルター



佐々木 睦子

主のみ名を賛美します。小学生で教会に導かれて以来、牧師と立ってらるるから、主、我を愛す。主は強ければ、我弱く

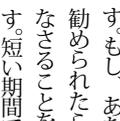
驚見達也



とも恐れはあらず。(二)ともさんびか)と歌いつつ、心に響かせつつ歩み、定年を迎えました。58歳で献身し、東京、保合、名古屋、蒲田の各教会にお世話になりました。63歳で按手後、広島名古屋、そして宇部教会での奉仕は、教会の皆さんに支えられてのものでした。厚狭、下関教会の皆さんと同労者にも励まされました。感謝の気持ちでいっぱい

現職として短い期間しか奉仕できませんでしたが、これからも神への奉仕で生涯を貫きたいと願っております。

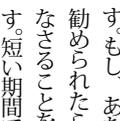
鷲見達也



20歳で受洗しました。洗いが、真の信仰が与えられたのは、神学校で神を信じ切る方々の中で鍛えられたことにおいてだと思

し、聖書は素晴らしいです。もし、あなたが受洗を勧められたら思い切つてなされることをお勧めします。短い期間でしたが牧師としての召しに心から感謝しております。

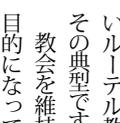
松木 傑



「日本の教会ほど日本の社会のなかで貴重な存在はない」と常々、わたしは教会の方に申し上げてきました。教会に行く行かないかは、まったく各自の自由である。この世代的には何の得もなく、献金す

存任はないと常々、わたしは教会の方に申し上げてきました。教会に行く行かないかは、まったく各自の自由である。この世代的には何の得もなく、献金す

吉谷正典



教会から43年前に頂上、今や手垢で汚れたカウンとストールを眺

教会から43年前に頂上、今や手垢で汚れたカウンとストールを眺

この2年間大変お世話になりました。

この2年間大変お世話になりました。J3として色々な大切な経験ができて、心から感謝します。ルーテル学院中高では英語を教えたり、優しい先生たちや元気な生徒たちと話をしたりして楽しかったです。

毎週日曜日に神水教会の皆様と共に礼拝をして嬉しかったです。また、日曜日の夜の熊本教会の国際英語礼拝では母国語で礼拝できてよかったです。アメリカに帰国することになりますが、日本でつくった貴重な思い出をいつまでも忘れません。